

くすのき



令和3年9月6日
渋谷区立中学校特別支援教室拠点校
渋谷区立代々木中学校
校長 川上 弘文
特別支援教室くすのき



今年もコロナ禍の中での夏休みでしたが、皆さんはどのように過ごしましたか。この夏は、オリンピック、パラリンピックが行われ、共に中学生メダリストが誕生しました。選手達の最後まであきらめずに自分を信じて前を向く姿に、自らを奮い立たせた生徒もいるのではないのでしょうか。一方で、夏休み明けの学校生活に不安を感じている生徒もいるかもしれません。くすのきでは、9月からも、個々の生徒の皆さんに寄り添った支援を行っていきます。



くすのき三者面談が始まります

秋季休業日をはさみ、前期末面談を実施致します。面談では指導内容をお伝えするだけではなく、御家庭での様子をお話いただき、より生徒の実態に即した指導を行っていきたくと考えています。

日時の決定につきましては、別途お知らせを配布致します。また、併せて前期個別指導計画の御確認をお願い致します。（確認後に、御署名をいただきます。印鑑の御持参は不要です。）

お忙しい所恐れいたしますがよろしくお願い致します。

くすのき三者面談

- ◆時期 9～10月
- ◆内容 (1) 前期のまとめと後期に向けて
(2) 書類の確認
- ◆出席者 生徒・保護者・くすのき巡回指導教員
(在籍校教職員が同席できる場合は四者面談になります。)



暑さ



テスト

夏休み明け、疲れが出ていませんか??

夏休み明けは、暑さや生活リズムの変化から、疲れが溜まりやすくなります。また、行事や定期考査等普通の学校生活とは違った取り組みもあります。

落ち着いた学校生活を送るために、自分の行動をコントロールする方法や、リラックスする方法についても、身に付けていきましょう!

生活習慣の乱れ



行事

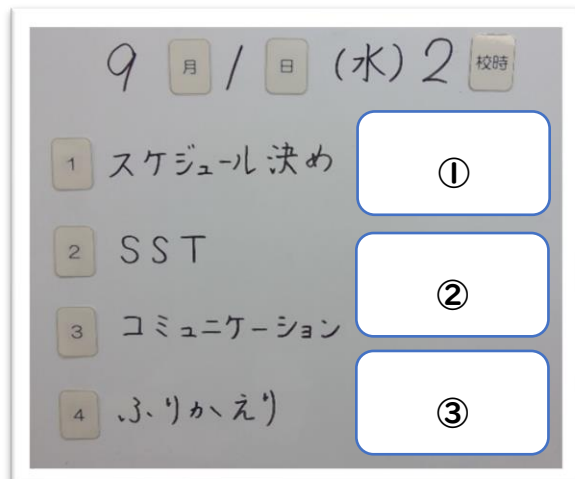
くすのき指導の流れ

特別支援教室くすのきでは、生徒それぞれにあった個別の指導を行っています。今回はその一例をご紹介します。

学習活動①（導入）

授業の流れを確認します。

指導の内容によっては、生徒と教員で意見を出し合いながら、決定します。



学習活動②

「説明する力を向上したい」生徒の場合

(1) アセスメント（困難さの見立て）

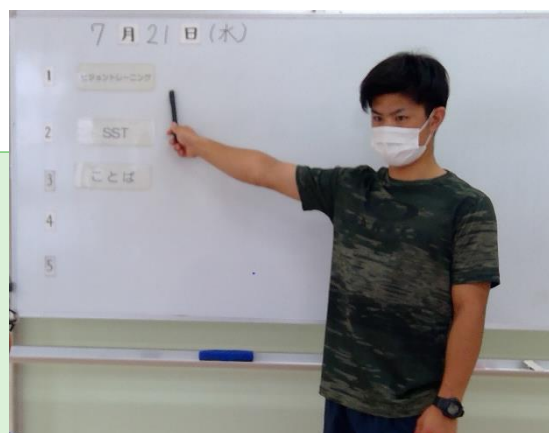
どんなことで説明が苦手になっているのか確認します。

- ・状況を理解することが苦手
- ・伝えるための語彙が少ない、表現方法がわからない
- ・伝え方（誰に、どの場面で）がわからない等

(2) 支援内容の一例

アセスメントを通して、指導を行います。生徒の強みを活かしながら以下のような活動を通して説明する力を高めるよう支援を行います。

- ・言葉の学習
- ・具体的な場面でどう説明するかロールプレイング
- ・右の写真にあるようなカードゲームを使って、楽しみながら活動する



学習活動③（まとめ）

活動を振り返ります。

振り返りシートに感想を記入したり、感想を発表してもらう等、生徒にあった形で振り返りを行います。また、次回の指導内容についても確認します。

